

問題 287-2 差別価格採用による利潤の計算

ある町では、映画館が1軒のみ存在している一方で、消費者は多数存在していて、この映画館による独占が成立しています。消費者の需要関数は男性と女性とで異なり、それぞれ

$$X_A = 80 - 2P_A$$

$$X_B = 60 - 2P_B$$

です。また、この映画館の費用関数は、

$$C = 5(X_A + X_B)$$

です。当初、この映画館は、消費者の性別に関わらず一律の価格を設定していましたが、現在では、上記の性別毎の需要関数に基づき、性別毎の価格設定を行っています。

こうした性別毎の価格設定による、この映画館の利潤の当初からの変化として妥当なのはどれですか。

- 1 50 減少
- 2 25 減少
- 3 変化無し
- 4 25 増加
- 5 50 増加

$X_A$  : 男性向けの需要量、 $X_A \geq 0$

$P_A$  : 男性向けの価格

$X_B$  : 女性向けの需要量、 $X_B \geq 0$

$P_B$  : 女性向けの価格

(国家総合職 改題)